

# 令和5年度第2回日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会

## 議事録

日 時 令和5年12月1日(金) 午前10時～午前11時20分

場 所 日進市中央福祉センター2階 多機能室

出席者 <委員>佐野治(委員長)、谷口功(副委員長)、長谷川純、小池由成、  
(敬称略)神野建三、蛭牟田弘樹、山田幹雄、井口紘一、数井美津子  
<事務局>市：川本賀津三(健康福祉部部長)、祖父江直文(地域福祉部次  
長兼地域福祉課長)、野村圭一(同補佐)、新海洋人(同係長)、  
櫻木順子(同係長)、小倉懸自(同主査)、中村聡美(同主事)  
社協：牧智彦(事務局長)、天野典幸(包括支援課長)、  
福田有輝(地域福祉課係長)

欠席者 5名(秋田有加里、興梠精規、成田ゆき江、松元響香、寺田裕美)  
(敬称略)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 2名

次 第 1 あいさつ

2 議事

(1) 第2期にしん幸せまちづくりプランについて

① 策定方針について

② アンケート実施概要について

3 その他

事務局 定刻になりましたので、令和5年度第2回わたしのまちのしあわせづくり委員会を開催いたします。

本日は、5名の委員がご都合により欠席のため、委員14名のうち、9名の方が出席されております。会の成立には半数以上の出席が必要となっており、本日の委員会は成立します。

でははじめに、委員長よりごあいさつをお願いします。

(委員長あいさつ)

ありがとうございます。今回、事務局に変更があります。社会福祉協議会の事務局長として新たに牧が就任しましたのでご報告いたします。

それでは議事に入る前に、会議資料の確認をお願いします。

(資料確認)

それでは、これからの進行について委員長をお願いします。

委員長 本日2名の方が、傍聴を希望しておられます。日進市市民参加及び市民自治活動条例施行規則第16条の規定に基づき、会議を公開とするのか非公開とするのかを決定します。本日の議題は次第のとおりです。審議の段階で個人のプライバシー等明らかに公開するのに適当でない事項の審議はありません。会議の公開についてご意見がなければ、第10条及び第11条の規定に基づき入室を決定したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、傍聴者をお通しします。

それでは議事(1)第2期にっしん幸せまちづくりプランについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料1、2、当日資料1、2について説明)

委員 市民アンケートは無作為抽出した2,500名を対象に実施すると記載があります。若い方が回答すれば子育てに関する話が出て、高齢者が回答すれば高齢に関する問題が出てくると思うので、うまく層別して、この回答が増えたのか減ったのかというような変化を見られるような形にしておかなければいけないと思います。

また、様々な施策を行ったことで、どう改善されたかが見えるような形にしたいです。

委員 市民アンケートの対象者について、日進市での居住年数で振り分けができれば良いと思います。

前回の委員会でも話をしましたが、昨年12月に民生委員の改選を行ってから欠員状態が続いています。地区の役員のなり手がいないとよく聞きますし、子ども会の役員をやりたくないで、子ども会に子どもを入れない方もいると聞きます。アンケートの中に、高齢期の過ごし方を聞く質問がありますが、一般的な話ではなく、防災や防犯に関心があって活動に参加してみたいといった類の質問があると良いと思います。やってもらう側ではなくて自分たちがやる側になるというような方向性が見えるアンケートになれば良いです。

策定方針については概ね大丈夫です。

委員 地域に高齢になって体が弱られた、もしくは認知症状が見られるようになったという方が結構います。そういう方と楽しくいつまでも地域でお付き合いできるようにしなければならないと感じます。

資料の中にまちづくり協議会について記載があります。長年の活動となり非常に光栄ではありますが、実際は数年経って息切れしています。地域を良くしようと頑張ってくれていた方たちが高齢になり、入院される方もみえる状況です。事務局長など世話人の方の引き受け手がなく、非常に困っていますし、壮年期の方と高齢者の地域における連携が昔と比べると弱くなってきています。地域のまちづくりが軌道に乗っているような地区もあるかもしれませんが、市や社会福祉協議会に「この地区はこういった課題があるので、改善が必要です。」といったアドバイスやコーディネートをしていただきたいです。

委員 アンケートの内容については、提示いただいた内容で進めていただければと思います。

サンプル的に大体1万件以上の母数に対しては400件ぐらい集まれば良いと聞いたことがあります。市民アンケート対象者全員から回答が集まるとは考えづらいですが、できるだけ多く回答いただいて良いデータになればと思います。事業所については、対象が300件でも多くの方に回答していただけるのではないかと思います。

委員 策定方針の中に将来の人口推計が記載されています。70歳近くまで働かれる方が増えてきている中で、ただ単純に高齢化ということ、今までと同じような年代構成で見ているのかと疑問に思いました。

地域で市民団体の方々が色々と活動されている中で、後継者の問題があると先ほ

ど話がありました。普段仕事をされている方が増えており、実質的にサービスを提供される側の方の年齢が上がってきているので、サービスの提供の手法も少しずつ変わってくるのではないかと思います。

委員 事業所アンケートの調査対象について、「高齢、障害、子ども・子育て、教育、生活困窮の各分野」の内訳を教えてください。

令和3年度に実施した活動団体アンケートの結果を令和4年度の団体の代表者に郵送していたと思いますが、代表者から何か反応があったり、何か成果が出ているか知っていたら教えてください。また、今回のアンケートは活動団体アンケートと何か繋がりを持たせたいということで実施されるのかも教えてください。

委員 今まで様々なアンケートや座談会を行ってきていますが、それがどのように活かされてきたかがあまり見えなかったと感じています。現計画の最終年度になりますので、もう少しきちんと取り組んでもらいたいです。資料にもありましたように、日進市は高齢だけでなく、若い人たちの課題がすごく増えてくると思います。子育ての問題がたくさんありますが、具体的な政策が見えてきていない状況です。

私達が考えた重層的支援体制整備事業のイメージ図を令和4年度に市へ提示しました。30年以上ボランティア活動をしてきて、こうなれば市民参加が進み、市民の力でより多くの人たちを助けていけるのではないかとこの図になったと考えていただきたいです。小さい団体だけが力を出すのではなくて、もう少し大きい力が出せるように、30年以上社会福祉協議会や行政と繋がりたいと思ってきましたが叶いませんでした。委員長は社会福祉協議会の研究をされていますので、日進市に確たる社会福祉協議会を作るための助言をしていただきたいです。CSWが地域とコミュニケーションが取れないのは、市の職員の配置転換と同じようにCSWを変えてしまうからだと思います。委員長に社会福祉協議会を変えていただかないと、日進市の福祉は進みません。地域に出て、地域と連携できる人が誰もいない社会福祉協議会はないと思います。私達には資産や広告力もないので、少しの人しか助けられませんでしたけれども、社会福祉協議会や行政と連携ができていたら、どれだけ多くの人たちを救えたかと思うと無念です。この委員会に10年間関わってきましたが、何も進みませんでした。第2期の計画を策定しても進めていく人がいません。新しく就任された社会福祉協議会の事務局長の意見も聞かせていただきたいです。委員長には社会福祉協議会そのものを作り上げていただきたいです。

委員 10年間何も進んでないと言われると、10年間携わってきた身として本当に申し訳ないなと力不足を感じているところです。10年前に現計画書を策定したときには、日進市の地域福祉の問題は10年後にきちんと見えるようになってくる

という話がありました。10年前に話したときには、暮らしの課題、地域の課題、生活の課題といったようなことが地域福祉の課題なのと言われていたけれども、10年経ってそれが当然になり、制度や私達の感覚も変わってきたと思います。ですので、次のステージに進むというところでは実現可能なものが、なぜできなかったのかということも含めて検討していただければと思います。

アンケートについて、基本的にはこの内容で良いと思いますが、資料1の中に盛んな地域福祉活動のことが記載されています。10年前は3つだったまちづくり協議会が少なくとも2つ増えたとし、ほっとカフェやつどいの場ができたことを踏まえて、これがどんなふうに地域や社会に浸透しているのかを聞けると良いです。アンケートに具体的な固有名詞を出しても良いと思います。市民アンケート問10の選択肢12のNPOなどにまちづくり協議会等も含まれていると思いますが、なるべく等ではなく、まちづくり協議会やほっとカフェ、つどいの場といった具体的な場を示して、市民がどんなふうに自分の困り事に対して社会との接点を見出しているのかを確認できると、まちづくり協議会やほっとカフェやつどいの場を推進していく根拠になっていくと思います。

他の市町村の地縁の組織の弱さを見ていると、やはり住民組織がないといけなと感じます。県内で一番自治会の加入率が低いのは豊山町になるかと思いますが、今後どのように制度を組み替えながら進めていくか、試行錯誤しているところです。一方で、割と地域福祉が盛んな知多市は社会福祉協議会も含め色々な連携をし、ありとあらゆる制度を整えています。住民の満足度もそれなりにありますが、何か住民たちは物足りなさを感じています。制度がないことと制度があることをどのように整理をするのかを市町村も悩んでいるところです。制度があれば良いというわけではありませんが、制度がなければ困るので、実りある制度であるという実感をどう高めていくのが悩みどころだと思います。今後は市民も制度設計に関わっていくことが求められていると考えます。

委員長 市民アンケート問13の地域生活課題を抱えた人を見聞きしたことがあるかという話の中で、不登校あるいは発達障害、実は精神疾患を持っていて通院しながら家にいるような方、見た目では分かりづらいパーソナリティ障害を持っている方、ご近所トラブルで悩んでいる方、クレマーといった課題がある方が入ってこない気がします。実際には地域でそういう方が困っているように見えますので、そういう方が浮き彫りになるような質問を入れて欲しいと思いました。地域だからこそわかることがあると思います。

委員 市民アンケートの設問22の選択肢に自治会が入っていません。地域に情報発信を行っているので、選択肢に入れてほしいです。

事務局 まず、無作為抽出をして変化が見られると良い、あるいは今後同じようなアンケートを実施した際に政策によってどう変わっていったかという変化が見られる形になると良いというご指摘をいただきました。今回のアンケートと10年前に実施した現計画を策定するためのアンケートの連続性が必要かもしれませんが、今回は重層的支援体制整備事業が始まるという背景からそこに焦点を当てた内容にしております。次期計画期間は10年間を予定しておりますので、中間年や最終年等々でアンケートを実施することによって、住民の方の意識がどう変わってきたかといった中間評価は可能かと思えます。参考にさせていただきます。

次に、市民アンケート設問22の選択肢に自治会が入っていないというご指摘ですが、区や自治会には回覧などでこまめに情報発信をいただいておりますので、選択肢への追加を検討します。

次に、無作為抽出の中で居住年数による振り分けができないかという話がありましたが、対象者を抽出する段階での振り分けは難しいと考えます。日進市に住んで何年経ったかを確認する設問を入れていないので、今回のアンケートの意図として、日進市の居住年数と何かをクロス集計したときに、違いを見る必要があるのか検討し、必要であれば設問を追加させていただきます。

それから、区や民生委員、あるいは地区の役員の担い手など、住民の方がどういう役割を果たしたいかといったようなやる側の意識が聞けると良いというご指摘ですが、例えば市民アンケート設問15や高齢期の過ごし方を聞く設問19の選択肢に地区の役員を追加するなど検討します。

次に、事業所向けアンケートの対象件数の内訳ですが、高齢・介護関係が約160件、障害関係が約60件、子育て教育関係が約80件、生活困窮関係が数件になります。

令和3年度に実施した活動団体アンケートは、区長や子ども会といった地域の団体を対象に実施しましたが、今回のアンケートは地域包括支援センターや障害者福祉センター、デイサービスの事業所といった専門機関を対象に実施しますので、対象が重ならない形になります。連続性というよりは、今までなかなかアンケートを実施できていなかった事業所に地域福祉に関する話を聞きたいと思っています。

次に、市民アンケート設問10の選択肢等に、日進市で活動が広がっているほっとカフェやまちづくり協議会といった具体的な名称を示したらどうかというご指摘ですが、設問17でも具体的な固有名詞はでてきていないですし、選択肢に記載することでわかりやすくなることも考えられますので、せっかくの機会と捉えて参考にさせていただきます。

最後に、地域課題の困りごとの例示で、不登校、ひきこもり、発達障害、あるいはご近所トラブルを抱えている方等を含めた方が良いというご指摘です

が、例えば不登校は単純にお子さんが学校行けないということだけでなく、その背景には色々な生活課題があることも考えられますので、選択肢として検討させていただきます。

その他のご意見につきましては、今後の検討事項等の参考にさせていただきます。ありがとうございます。

事務局 社会福祉協議会から回答いたします。委員から長年の事業者として支援者としての視点から様々な社協に対する思いを聞かせていただきました。至らないことばかりではあるかと思いますが、社会福祉協議会としては、計画の中で市と協働しながら進めてきましたし、施策や事業の優先度を明確にした計画の策定に取り組んでいるところです。実施している事業が見えづらいというご意見いただいておりますので、いかに分かるような形で示せるのか、市民の方に対してどう活動を周知していくのが求められているところだと理解いたしました。現計画で改めて提示をさせていただいておりますが、市と社会福祉協議会でCSWの活動をどう動かしていくのか、実効性のある計画にするために反省点も活かしてそれを繋いでいくか、検討していかなければいけないと思いました。

また、CSWの働き方や様々な活動については、社会福祉協議会の発展強化計画に基づいております。職員研修や業務について、問題点の洗い出しをさせていただき、今後の課題とします。

事務局 10月から事務局長に着任しました。先ほどもお話があった通り、理事会評議員会で承認いただくときに、頻繁に事務局長が変わって本当に大丈夫なのかというご意見もございました。社会福祉については、市役所職員のときにはあまり経験していませんが、職員の力を借りて前向きに推進していきたいと考えております。よろしく申し上げます。

委員 福祉に関して経験が少ないという話でしたが、行政として公共の福祉のために長年勤められた自負があると思います。まさに行政は福祉のためにあるので、私は決して経験はゼロではないと思います。自信を持って、市民の公共の福祉のためにやってきたと言われた方が市民は安心できます。

委員長 様々なご意見ありがとうございました。  
策定方針、アンケート調査票について、修正後の確認は委員長に一任いただく形でよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長 以上で、本日の委員会の議事は終了となります。進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。議事の際にもご説明しましたが、今回の会議で出た意見等を検討させていただき、修正等があった場合、修正後のアンケート調査票の確認は委員長に一任いただく形ということでよろしく申し上げます。  
また、次回の委員会ですが、必要があれば年度内にもう一度開催予定でございます。開催日が決定し次第、メール等で日程を委員の皆様にご連絡いたしますのでよろしく申し上げます。  
その他、委員の方から何か報告や周知事項等がありますでしょうか。

(あいあいの家活動について)

これで、令和5年度第2回日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会は終了します。本日は、ありがとうございました。

(午前11時20分閉会)